

- ① 愛知県医師会ICLS研修会
- ② 薬局薬剤師養成事業
- ③ 看護部新人教育
- ④ 編集後記  
交通案内・利用方法 など

愛知県地域医療再生計画により設立された、名古屋市立大学病院臨床シミュレーションセンターは、新生児医療、周産期医療、救急医療の3領域の研修を通じて地域の医療安全の確保とチーム医療の向上を目指します。

## 愛知県医師会 ICLS研修会が開催されました

愛知県医師会救急委員会が主催する研修会等には、AED(BLS)講習会、愛知県医師会ICLS研修会、愛知県救急医療推進大会、救急医療・災害医療シンポジウム、災害時・災害訓練に役立つトリアージ研修会、小児救急に関する研修会、愛知県医師会PTLS講習会があります。今回昨年に引き続き名古屋市立大学病院臨床シミュレーションセンターをお借りしてICLS研修会を開催いたしました。豊富に機材が揃っており、優秀なスタッフも集めていただき感謝しております。平成16年12月23日、翌年3月に開催される愛知万博の救護所に執務する医師に対して第1回愛知県医師会ACLS研修会が開かれました。その後、平成25年2月13日で10回目を迎えました。4回目からは竹内昭憲先生、増田和彦先生はじめ名古屋市立大学関係者の皆様に支えられて回を重ねて参りました。日本医師会では「日本医師会員の生涯教育としてACLS教育を位置づけ、医師による効果的な救命処置・治療の実施を推進することで、救急患者の救命率、社会復帰率の向上に資することを目的とする。」としており、救急委員会としては愛知県医師会員全員の受講を目指して



受講風景



ICLS研修会を継続開催していかなければならないと考えております。また、愛知県医師会には桜山ICLSで育ち、インストラクターやディレクターを取得された先生方が10数名おり、将来医師会員中心で運営できる日が来ることを楽しみにしております。そして引き続きこのシミュレーションセンターで開催させていただけたら幸いに存じます。

文責 愛知県医師会救急委員会委員長 野村直孝



受講生の皆さま

## チーム医療に貢献する薬局薬剤師の養成 ～大学が提供する薬局薬剤師に特化した新しい研修～

平成23年度文部科学省「専門的看護師・薬剤師等医療人材養成事業」として採択された本学の「チーム医療に貢献する薬局薬剤師の養成」は、薬局で実際に勤務している薬剤師を対象として、チーム医療の担い手として貢献できる高い臨床能力の修得を目指す薬剤師生涯研鑽のための事業です。

薬局薬剤師には、調剤や在宅医療、健康相談などを通じて地域医療に貢献することが求められながら、十分にそのチーム医療を担うための研修機会が提供されてきませんでした。本学では、医療系学部（医・薬・看護学部）が連携して大学での医療人教育を行っていますが、その中で、普段は別々に活動している医療系のスタッフや学生と一緒に研修を行うことが、多職種間の理解を深め、チーム医療の必要性や有用性を共有するととても良い機会であることを実感してきました。その経験をもとに、大学の医療系学部や附属病院の先生方と連携して薬局薬剤師のための新しい本格的な臨床研修を開始したわけです。

本研修コースは、薬学部・医学部・看護学部・附属病院のスタッフを講師に大学施設を会場にして実施される年間20回以上の研修を50名の薬局薬剤師に継続して受講いただくものです。その研修は、講義と実習や演習を組み合わせた参加型で、学内の先生方はもちろん医師・看護師・臨床心理士・管理栄養士・救急救命士など医療に携わる多くの職種の方、医療系学部の学生・院生などにも協力いただいています。



鈴木 匡  
(薬学研究科教授)

### 2012年度 研修会風景

#### 領域1



チーム医療のための  
フィジカルアセスメント



医療従事者のための救急救命トレーニング

#### 領域2



生活行動の観察と対応



呼吸困難患者の観察と対応

#### 領域3



水分と利用補給に必要な知識と技術

研修は大きく3つの領域に分けて実施しており、【領域1】は医療技術の修得を目標とする領域、【領域2】はコミュニケーションや臨床心理、介護・看護技術修得を目標とする領域、【領域3】は薬物療法や臨床研究の知識や技術修得を目標とする領域ですが、臨床シミュレーションセンターでは領域1と2の研修を年間12回ほど実施しています。普段接することの少ない薬局薬剤師と医学部、看護学部、大学病院等のスタッフとの気軽な交流も本研修の大きな魅力となっており、それ自体がすでにチーム医療を推進しているとも言えます。そんな講師の方々の熱心な指導に受講した薬剤師からも高い評価をいただいています。お忙しい中で協力いただいている

方々に心から御礼申し上げます。詳しい内容や研修の評価等は本事業のホームページ (<http://www.phar.nagoya-cu.ac.jp/ph-gp/>) をご覧下さい。

## 看護部新規採用者研修実施中

～看護技術習得の第1歩は臨床シミュレーションセンターから～

水野 圭子  
(看護部教育師長)

名古屋市立大学病院臨床シミュレーションセンターは利用スペースが広く視聴覚の設備も整っているので、当院看護部の新規採用者の技術研修をはじめ、BLS研修、リーダー研修など様々な研修に利用させていただいています。今年度の新規採用者研修ではフィジカルアセスメント、ボディメ



採血演習

カニクス、採血、点滴、ME機器の研修などを行いました。

技術研修をする場合は演習に入る前に、正しい知識の確認が必要となります。臨床シミュレーションセンターでは、多目的室の半分を講義スペース、半分を演習スペースとして利用し、知識の習得・デモンストレーション・演習という順に研修を進めることができました。



フィジカルアセスメント・ボディメカニクス

フィジカルアセスメント、ボディメカニクスでは病棟と同じベッドを使用し、新人看護職員がお互いに患者役、看護師役となって体験することができました。また、最適な環境で知識の習得、体験学習、技術訓練を行うことができ自信をもって職場内研修へと進むことができました。

今後も臨床シミュレーションセンターのシミュレーターや設備を活用して、看護師の技術向上を目指していきます。



ベビーの沐浴



ミキシング・点滴



採血演習(採血シミュレーター)

### 平成24年度 臨床シミュレーションセンター利用実績

(単位：名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
全体	956	1,182	1,460	1,022	793	837	724	953	1,136	667	656	687	11,073
うち学外	93	348	314	430	190	329	216	291	415	82	137	150	2,995
利用件数	43	51	55	41	36	42	46	53	51	43	36	23	520



## 編集後記

臨床シミュレーションセンター発足から2年が経過しました。昨年度は延べ1万人を超える方にご利用いただきました。地域・院内におけるシミュレーション教育の着実な広がりを実感しています。

本年1月に米国のフロリダにおいて開催された医療シミュレーション国際学会に参加し、その際に現地の2つのシミュレーションセンターを見学する機会がありました(下図)。医師・看護師はもとより、特に呼吸療法士、検査技師、救急救命士などのパラメディカルの方々の、シミュレーション教育の充実には目を見張るものがあり、その設備と規模に圧倒されました。わが国でも当センター設立の元になっている全国で展開されている地域医療再生計画により全国各地でシミュレーションセンターが設立されていますが、運用面も含めて、まだまだ大きな差があると実感しました。



救急車内シミュレーションセット



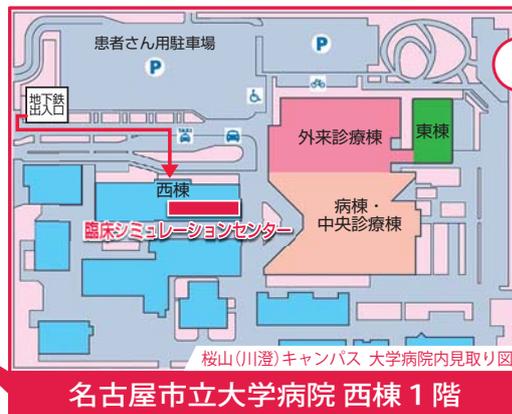
呼吸療法士養成センター



心臓検査スペシャリスト養成センター

今号でもご紹介いただいた、各種のシミュレーション教育は、開催する方々と参加する方々の両方の情熱があって初めて成り立っています。関係者の情熱に敬意を表したいと思います。今後も、利用者の方々が利用しやすくなる運営方法などを工夫することで、地域および学内の医療安全やチーム医療の向上につなげる努力をしていきたいと考えています。

## 交通案内



### [交通機関]

地下鉄 桜通線「桜山」駅下車  
3番出口

市バス 金山7番のりばより  
金山12「市立大学病院」下車  
金山8番のりばより  
金山14「市立大学病院」下車

(一般用駐車場がありませんので、公共交通機関でお越し下さい)

## 利用方法

- ・ ホームページ (URL <http://www.med.nagoya-cu.ac.jp/simncu/index.html>) より利用申請書・不動産一時貸付申請書をダウンロードしてFAX、郵送または受付まで持参していただきますと、センターで利用許可証を発行します。
- ・ 使用予定日の6ヶ月前の月の最初の平日よりお申し込みいただけます。
- ・ 特にセンターの設立目的に合った利用のみは6か月以上先の予約でも受け付けます。従って、第1受付日でも既にお申し込みいただけない日ができる場合がございます。ご注意ください。最新の施設空き状況は、お電話にてお問い合わせください。
- ・ 使用目的、使用計画などをお知らせいただきセンター設立目的に合わないものは利用をお断りすることがございます。詳しくは、センターホームページをご覧ください。か、**センター事務室までお問い合わせください。**

受付時間

月-金 9時から17時 (祝日除く)

vol.5  
(2013.7)

発行：名古屋市立大学病院臨床シミュレーションセンター

電話 052-853-8429 FAX 052-853-8436

E-mail [simncu@med.nagoya-cu.ac.jp](mailto:simncu@med.nagoya-cu.ac.jp) URL <http://www.med.nagoya-cu.ac.jp/simncu/index.html>